

小松英典教授による 声楽 & 伴奏 公開講座

～ ドイツ歌曲、日本歌曲、オペラアリア、オペレッタより ～

2024年3月22日(金) 13:30 開演(13:00 開場)

西宮 甲東ホール 聴講料 2,000 円



小松英典教授 / バリトン Prof. Hidenori KOMATSU, Baritone

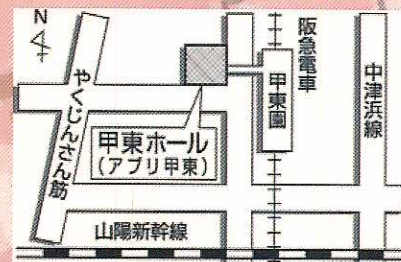
1975年ハンブルクで宮廷歌手アーノルド・ヴァン・ミルに師事。1976年リュウベック国立音楽大学に入学し、宮廷歌手エディット・ラング、ルネ・コロらに師事。1980年リュウベック国立音楽大学リート・オラトリオ・オペラ科を卒業。1982年よりハンブルクを中心にドイツ各地で、ブラームス「美しきマゲローネのロマンス」、シューベルト「冬の旅」リサイタルを行う。1983年ベルリンでフィッシャー・ディースカウと共演。また、アーリン・オジェー、エリー・アメリンク、ハンナ・シュヴァルツ、クルト・モルなど著名な歌手と共演し、ザルツブルグ音楽祭などのヨーロッパの主要なフェスティバルにも参加。小澤征爾の指揮によるR. シュトラウス「サロメ」、プッチーニ「マノン・レスコー」、バッハ「マタイ受難曲」は絶賛された。また1992年「小松英典マーラーを歌う」、1994年エディット・マティスとのデュオ・リサイタル「シューマンのタベ」、イェルク・デームスとの「冬の旅」(2000年)、ブラームス「4つの厳粛な歌」(2002年)等のリサイタルは、ドイツ音楽の精髓ともいべき演奏が大きなセンセーションを巻き起こした。レコーディングでの活動も目覚しくプッチーニ歌劇「蝶々夫人」(シノーポリ指揮)「珠玉の日本歌曲」「ドイツ歌曲選集」(アンサンブル編/モル、ファスベンダー)などを録音しており、ファスベンダーとの録音はドイツ、フランスでレコード優秀賞を獲得した。これまでに20枚余りのCDを残している。最新CD「日本の歌を集めて1&2&3」をリリースし、各方面から絶賛の声が挙がっている。ドイツ・ブレーメン国立音楽大学声楽科教授。ドイツ連邦共和国より終身プロフェッサー(Honorarprofessor)の称号を受称。秋田県大仙市民賞受賞。日本ドイツ歌曲コンクール(前 友愛ドイツ歌曲コンクール)、日本歌曲コンクール in 薬師寺、各審査委員長。

【会場アクセス】西宮 甲東ホール

〒662-0812

西宮市甲東園3丁目2番29号 アプリ甲東4階

阪急電鉄 宝塚線「甲東園」駅直結



お申込み・お問い合わせ先(三木)

メール: hnmkml107@icloud.com

TEL: 090 8163 7094